

1920



1921年

カナダの科学者チャールズベスト(左)とフレデリックバンティング(右)が、世界で初めて動物の膵臓からインスリンを抽出し、糖尿病の犬の治療に成功しました。



1922年

アウグスト クロウ教授とマリー クロウ博士夫妻は、この新たな発見に興味を引かれました。その最大の理由は、この時代には糖尿病は死に至る病であり、マリー クロウ自身も糖尿病を抱えていたことにありました。アウグスト クロウはトロント大学に赴き、北欧でのインスリン製造許可を得てデンマークに帰国しました。



1923年

ハンスクリスチャンハーゲドン博士とアウグスト クロウは、レオ ファーマの経営者であったアウグスト コンスタットから資金援助を受け、ノルディスク インスリン研究所を設立しました。



最初の実験は、コペンハーゲン近郊のハーゲドンの別荘「Villa Rødsten」で行われました。



アウグスト コンスタット、レオ ファーマ経営者

1925



1925年

ハラルペダーセンとトーバルペダーセンの兄弟が、ノボ テラピューティスク研究所を設立しました。兄弟の自宅「Villa Rolighed」の地下室において、同社初のインスリンが製造されました。



ペダーセン兄弟の自宅「Villa Rolighed」の地下室において、ノボ初のインスリンが製造されました。



学校の教師を務めていたトーラ ペダーセンが、同社を設立するための資金を兄弟に融資しました。その融資金は、男女同一賃金の実現に取り組んだトーラの活動に対し、学校教師協会から授与された1万デンマーククローネから拠出されました。

1926



1926年

アピスブルをモチーフにしたノボの
ロゴが初めて導入されました。



ノルディスクが、科学的な目的のために
資金援助を行う財団を設立しました。



1927年

ノルディスクの最初の本社が
ゼントフテに建設されました。
現在はノボ ノルディスク希少疾患部門が
社屋として使用しています。

1930



1932年

ノルディスク インスリン研究所が
ステノ メモリアル病院を設立しました。
同院は、北欧初の糖尿病の研究と治療を
専門とする病院となりました。



1935年

1935年、ノボは建築家アルネヤコブセンが設計した
機能性重視の新社屋に移転しました。
ペダーセン兄弟はアルネ ヤコブセンを高く評価し、
それ以降のプロジェクトでも彼を起用するようになりました。

1938年



ノボ テラピューティスク研究所が、コペンハーゲンの北部に
ヴァイドーレ病院を設立しました。
ここで糖尿病とともに生きる人々は治療を受けるとともに、
糖尿病との付き合い方、活動的な生活を送る方法を学ぶことが
できるようになりました。
現在、ヴァイドーレはノボ ノルディスクのカンファレンスセンター
として利用されています。

1940

1941年



第二次世界大戦中、豚臓が不足したため、十分な量のインスリンを生産することが困難になりました。

そのためノボは、動物の豚臓に既に含まれている酵素を利用する方法を模索し始めました。

1941年その努力が実を結び、ノボは産業用として初となる酵素製品を発売しました。この酵素は「トリプシン」と名付けられ、なめし革業界で革の軟化に使用されるようになりました。

1945年



第二次世界大戦中のドイツによる占領後、ノボは特注の冷蔵車を入手し、欧州全土から動物の豚臓を輸送しました。

1951年



科学的、社会的、人道的な活動を支援することを目的として、ノボ財団が設立されました。

1960

1960年



1955年、ベダーセン兄弟は先見の明を持って、コペンハーゲン近郊のバウスヴェアにある115,000平方メートルの建設用地に投資しました。建築家アルネヤコブセンが建屋を設計し、1960年に完成しました。

1961年



トールベダーセンの後任として、クヌードハラスミュラーがノボのCEOに就任しました。

クヌードハラスミュラーは、1937年以来、ノボの科学研究を主導する役割を担ってきた人物であり、「レンテ®」インスリン製剤を開発した3人のうちの1人でもありました。

1969年



ノボは、むき出しの配管が特徴的な生産工場をカロンプーに新設しました。

この工場も、建築家アルネヤコブセンが当時流行のスタイルを取り入れて設計したものです。現在同工場では、全世界のインスリン製剤の半分が生産されています。

1971年



ヘンリーブレナムがソルディスクのCEOに就任し、拡大する国際市場における競争力の強化に向け、同社の方針を新たに決定しました。

1974年



ノボのB株がコペンハーゲン証券取引所に初めて上場されました。

1976年

NOVO INDUSTRIAS

親会社であるノボテラピューティクス研究所が1976年1月付で子会社を合併し、社名をノボインダストリーとしました。

1970

1980



1980年

1980年、ノルディスク インスリン研究所が組織を再編し、社名をノルディスクゲントフテに変更しました。

1986年には、コペンハーゲン証券取引所に上場しました。



1981年

クヌード ハラスミュラーの後任として、マッズ オプリセンがノボインダストリーのCEOに就任しました。



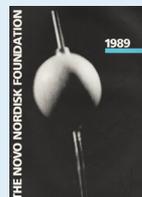
ノボインダストリーが、ニューヨーク証券取引所に初めて上場しました。



1989年

ノルディスクゲントフテとノボインダストリーが合併し、ノボノルディスクが誕生しました。

この新会社ではヘンリーブレナムとマッズオプリセンが2人で共同社長を務め、1990年にヘンリーブレナムが逝去した後、マッズオプリセンが社長兼CEOに就任しました。



ノルディスク インスリン財団とノボ財団が合併し、ノボノルディスク財団が設立されました。

1990



1992年

ステノメモリアル病院とヴィドーレ病院が合併し、ステノ糖尿病センターが設立されました。



1994年

ノボノルディスクがデンマークで初の環境報告書を発行しました。



1999年

ノボノルディスクが社会的責任に関する初の報告書を発行しました。

2000

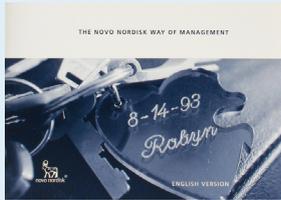


2000年

会社をノボグループ傘下で操業する3つの独立した会社に分割しました。(ノボ ノルディスク、ノボザイム、ノボ)。



マッズ オブリーセンの後任として、ラース レビアン ソレンセン (右)が新たに CEO に就任しました。



「Novo Nordisk Way of Management」の改訂版で、世界中の社員に適用されるビジョン、憲章および方針を定めました。



WORLD **DIABETES** FOUNDATION

2002年

発展途上国における糖尿病の予防と治療の支援を目的として、世界糖尿病財団が設立されました。

2003年

社員ボランティアプログラム「TakeAction!」を開始しました。

TakeAction!



2004年

ノボ ノルディスクの会社定款に「トリプルボトムライン」の原則を取り入れました。

2005



2005年

発展途上国における血友病治療の改善を目的として、ノボ ノルディスク 血友病財団が設立されました。

changing diabetes®

2005年

糖尿病分野におけるノボ ノルディスクのコミットメントを表現するものとして、企業ブランドプラットフォーム「Changing Diabetes® (糖尿病を克服する)」が導入されました。



world diabetes day
14 November

2006年

国連が11月14日を「世界糖尿病デー」に認定しました。

**changing diabetes®
in children**

2009年

1型糖尿病とともに生きる低所得国の子供たちを対象として、治療と命を救うインスリン製剤を確保することを目的とした「Changing Diabetes® in Children (糖尿病の子供たちの未来を変える)」を開始しました。

2010

NOVO NORDISK
WAY

2011年

「Novo Nordisk Way of Management」の導入から10年後、
会社の伝統と価値観に重点を置いた「ノボ ノルディスク ウェイ」を
新たに導入しました。



2014年

建築家ヘニング ラーセンの設計による
ノボ ノルディスク新本社が完成しました。

**cities
changing
diabetes**

2014年

全世界の都市における糖尿病増加に取り組むため
「Cities Changing Diabetes (都市にまん延する糖尿病の克服)」
パートナーシッププログラムを導入しました。



2017年

ラースレビアン ソレンセンの後任として、
ラース フルアーガー ヨルゲンセンが
ノボ ノルディスクのCEOに就任しました。

**circular
FOR zero**

2019年

環境への影響ゼロを目指す環境戦略
「Circular for Zero 一循環型ビジネスで
環境負荷ゼロを実現する」を発表しました。

2020

**defeat
diabetes**

2020年

糖尿病を克服するための社会的責任戦略
「Defeat Diabetes (糖尿病に打ち克つ)」を
発表しました。

**Driving
change** | in
diabetes

2022年

新たなコーポレートブランドコンセプト
「Driving change...」を導入しました。

**Driving
change** | in
obesity

**Driving
change** | in rare
disease

JP23 | Driving change
for generations

2023年

ノボ ノルディスクは創立100周年を
迎えました。